

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年十月度 入選句（投稿総数四千八百八十四句・一般投句数六百三十八句）

特選

主張せぬもの傍らの草紅葉

岐阜市

花川 和久

宮澤賢治・雨ニモマケズ・風ニモマケズ・雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ丈夫ナカラダヲモチ 欲ハナク・
決シテ瞋ラズ（中略）ホメラレモセズ・クニモサレズ・サウイフモノニワタシハナリタイ とこの句は
言っている。目立つことはないけれど、ときがくれば、人はきつと気付いてくれる、口には言ふけ
れど、なかなか出来ないのが、普通の人間のあさましさ。

主役にはなれないけれど吾亦紅

大垣市

山田 千歌子

目立たないけれど、なくてはならない活花に ひっそりと秋を引き立てるつつまじさが吾亦
紅、「吾も亦紅なりとひそやかに」と虚子も詠っているように、このような人がこの世にたくさん
いて、社会は成り立っている。私自身も、決して主役にはなれなかつたけれど、人様に助けられ
ながら、なくてはならない人であつたかどうか 吾亦紅を活けながら考える。

穏やかな息をしている秋の山

大垣市

本郷 陽子

今年の夏は異常な暑さであつた。秋の気配にほつとひと息ついている私・山とて草木とてこの暑
かつたこの夏、青息吐息で生きてきたのではなからうか、昨日、今日の秋の気配にほつと息をつい
ているように見えるのは、あながち思い過ぎではないことは確かである。

秀逸

数珠玉やままごと遊びをしない子ら

神奈川県川崎市

佐藤 廣枝

飲み干して片目で覗くラムネ玉

愛知県額田郡

平松 京師

もう少し頑張りますと種なすび

京都府京都市

八田 弥須子

秋高しつぶての如き我のゐる

大垣市

澤井 国造

生き行けぬ人の訃報や秋の朝

本巢郡北方町

三輪 幸恵

秋天へ学童の声舟下る

大垣市

神野 武彦

木の匂ひ水の匂ひも秋澄めり

大垣市

森川 きよ子

そこまでと言ひて連れ立つ良夜かな

大垣市

松岡 千代

稲架かけや阿吽の息の老夫婦

大垣市

大角 信華

蛸を聞いて一人の厨かな

不破郡垂井町

大羽 志津子

入選

手鏡の白髪しみじみ今朝の秋
 竹取の世界のままの今日の月
 色の無き風や風力発電機
 眠る子を二階へ運ぶ良夜かな
 晩学の辞書の重たさ秋灯し
 湧く水の澄みて豊かな町に住む
 慎しく生きて傘寿の敬老日
 秋日濃しキラキラ光る河口堰
 かなかなかな森の語り部日暮くる
 ぱっと散りさつと集まる稲雀

静岡県藤枝市 山本 紫苑
 大垣市 森 茂寿
 大垣市 伊藤 英司
 大垣市 傍島 隆
 大垣市 中山 あや子
 大垣市 清水 登美子
 大垣市 久保田 悟義
 大垣市 秋山 くに子
 大垣市 坪井 克枝
 大垣市 宮脇 和子

入選

歴女来る今いくさなき芒原
 鶏頭やマーチで終る子のピアノ
 秋の声妻に遅るる上り坂
 見はるかす濃尾平野は豊の秋
 青き地球じつと見つめる月兔
 天高しくるりくるりと逆上り
 男 郎 花 な ほ 青 雲 の 志
 妻君は社長さんです男 郎 花
 吾に未だ残る純情月見草
 誰もがな皆行く道や敬老日

大垣市 大杉 すみゑ
 大垣市 宇佐美 昭子
 大垣市 小林 研
 揖斐郡大野町 藤田 涼子
 安八郡安八町 安八 華代子
 大垣市 新町 恵子
 大垣市 吉田 てるみ
 大垣市 宮上 美濃留
 不破郡垂井町 高木 紫雲
 岐阜市 花川 和久

選者吟

黄落や何故か急いで生きてゐる

青 志